

出張報告届

令和4年 10月 31日

吹田市議会議長様

会派名 無所属クラブ

代表者氏名 生野 秀昭

出張者氏名 生野 秀昭

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	ホクト文化ホールほか（長野県長野市若里1-1-3ほか）
期間	令和4年10月19日から10月21日まで3日間
出張の成果	別紙のとおり
備考	全国市議会議長会研究フォーラムin長野に参加



# 第17回 全国市議会議長会研究フォーラム 参加報告書

無所属クラブ 生野 秀昭

開催日 令和4年10月19日(水)～21日(金)  
会場 長野県・県民文化会館(ホクト文化ホール)  
テーマ デジタルが開く地方議会の未来

## 1日目 第1部 基調講演

講師 富山 和彦 (株)経営共創基盤(IGPI)グループ会長  
(株)日本共創プラットフォーム(JPI)取締役社長

議題 「コロナ後の地域経済」

コロナ後の全国経済を発展させる事は難しいが、地域経済を発展させる事なら可能性はある。地方経済を発展させるのが地方政治。

問題点 経済でなぜ当たり前が出来ないのか。  
経営体の動機付けの問題(民間企業と公営企業の違い)。  
新陳代謝が進まない問題。  
地域経済密度の問題。

## 第2部 パネルディスカッション

コーディネーター 人羅 格 毎日新聞論説委員  
パネリスト 岩崎 尚子 早稲田大学電子政府・自治体研究所 教授  
牧原 出 東京大学先端科学技術研究センター 教授  
湯浅 懇道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科 教授  
寺沢さゆり 長野市議会議長

議題 市議会に於けるデジタル化の取り組み状況。

岩崎) 地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性。

牧原) 地方議会のデジタル化：審議のオンライン化とデジタル化への対応。

湯浅) デジタル化の誤解・背景・意義・留意点、議会の個人情報保護。

寺沢) 長野市議会の状況～デジタル化への取り組み。

## 2日目 第3部 課題討議

コーディネーター 谷口 尚子 慶応義塾大学大学院  
システムデザイン・マネジメント研究科 教授

パネリスト 金澤 克仁 取手市議会議長  
板津 博之 可児市議会議長  
林 晴信 西脇市議会議長

議題 「地方議会のデジタル化の取組報告」。

住民に無関係では意味がない。デジタル化によってのコスト増に対し、何らかの向上なり利が無ければ意味がない。例えば投票率UPや住民の満足感など。

金澤) ペーパーレス化、職員時間外大幅減。オンライン視察が効果的。

板津) 議会報告会の見直し(完全オンライン)。

林) コロナ禍で語ろう会・議会報告会・公聴会・視察受入の機能不全を解消。

第4部 行政視察。

課題 「特色ある地域資源を活用した観光誘客」

行先 (視察1日目) 長野市内受け入れ施設 ⇒ 酒造松葉屋本店 ⇒ 北斎館(博物館)

3日目 (視察2日目) 竜王マウンテンリゾート SORA ⇒ 信州フルーツランド  
⇒ 長野オリンピック記念アリーナ 同オリンピックミュージアム

感想1日目。吹田市のように、独自の地域産業や一次産業の比率が低い地域では、今回のフォーラムの趣旨に沿って、議会としてどれだけ参考になるか疑問であるが、何も直接的な地域経済への影響でなくても、本市の特色である全国的・広域的・グローバル企業や経済に対し、地方政治でどれだけ地域経済の発展に寄与出来るか、地域が潤うか、間接的な住民への生活環境を整えることによって、都市部に位置する事でまた中核市と云う保健所の権限移譲を生かし、衛生・福祉などの取組によって、労働者なり市民の住み良い魅力的なまちづくりを為すことによって、労働再生産性の向上、明日への労働意欲向上が、結果、市民の消費活動の活発化に繋がり、経済の循環性の向上と共に街が発展し豊かになるのかも。

2日目。議会のデジタル化については、本市議会も負けずとも劣らず(劣っているのは私個人)、今後はデジタル先進都市と共に発展していくのではないかと期待している。

次に同じ中核市の長野市視察の成果であるが、視察1日目は、創業が江戸時代と云う老舗、地区200年と云う深い歴史を持つ酒蔵と地酒こそ吹田市には無いが、全国や海外でも飲まれているアサヒビールの本工場とビールミュージアム。比較するとアサヒビールや大幸薬品など、地域産業発展に地方議会がその発展に拘わる事はないし出来るものではない。

しかし北斎館に関しては、以前中核市サミットで松山市の子規記念博物館を視察した時にも吹田市立博物館との違いを、その後の市議会で訴えたとおりで、北斎館やまた後述の長野オリンピックミュージアム同様、視察する事により益々その思いが大きくなった。

3日目。視察2日目。竜王マウンテンリゾート SORA Terrace や信州フルーツランドの視察は、大自然を抱える長野市ならではの事で、吹田市では無理なこと。参考に成らない。

前述博物館についてであるが、長野オリンピック記念アリーナの中に、長野オリンピックミュージアムがあった。正に、私が市議会で、人が集まり行き易い場所として、万博記念公園に近々1万人を超える大阪府で最も収容人数の多いアリーナが建設される機会に、多くの市民も市内の何処に在るか分からないような吹田市立博物館を、吉野彰科学博物館とか資料館、岡本太郎美術館とか芸術資料館を併設するなりして移設すべきと訴えたとおりで、私の主張が今回の視察でも確信することが出来た。